



全農薬通報

No.245

平成18年10月20日

■ ■ ■ ■ ■ も く じ ■ ■ ■ ■ ■

◎ 組合からのお知らせ

第231回理事会

組合員異動

平成19年度全農薬地区協議会日程

第65回植物防疫研修会

◎ 研修会及びシンポジウム

(財)報農会、(社)日本植物防疫協会

◎ 平成18農薬年度7月期～8月期農薬出荷概況

◎ 主な行事予定

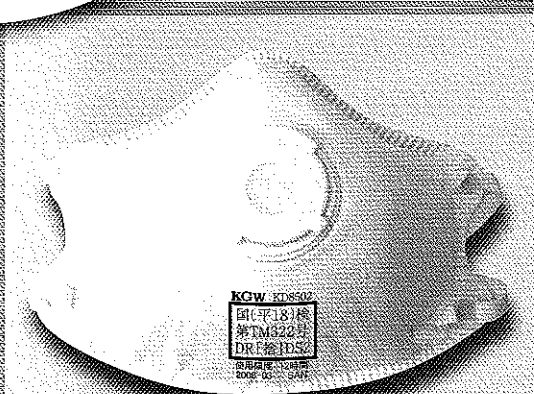
全国農業協同組合=東京都千代田区内神田3-3-4(全農薬ビル)〒101-0047/電話(03)3254-4171(代表)
FAX (03)3256-0980

回			2				
覧							

粉剤・液剤
散布用

ニチノ一 排気弁マスク

国家検定合格品 DS2適合品



■JANコード 4958093037709

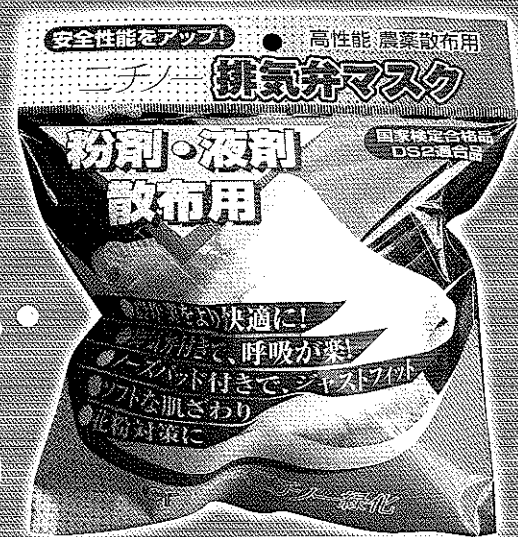
ニチノ一排気弁マスクは、農薬、防疫薬、木材薬品、等の薬剤散布をする人々の健康を願って創られた防護マスクです。

■ニチノ一排気弁マスクの特徴

- 広範囲な装着性
農作業をより快適に!
- 会話してもずれにくいオリジナルデザイン採用
排気弁付きで、呼吸が楽!
- ノーズパッド付きで、ジャストフィット!
- 金属無使用の環境対策サポート品
(廃棄時の分別作業不要)
- 鼻部のフィットも快適でメガネが曇りにくい!
- メッシュタイプ締めひもにより清涼感があります
- 入数 中箱(20袋)・大箱(200袋)
(1袋1枚入りパック)

安全性能
快適性能
を更に
アップ!

使えばわかる
快適な
着け心地!



■性能

(参考)

項目	規格値 (DS2)	ニチノ一排気弁マスク	DS1規格値
検定番号	-	第TM322号	-
使用限度時間	規格値なし	12時間	規格値なし
粒子捕集効率	95%以上	95%以上	80%以上
吸気抵抗	50Pa以下・70Pa以下 (排気弁有)	70Pa以下	60Pa以下
排気抵抗	50Pa以下・70Pa以下 (排気弁有)	70Pa以下	60Pa以下
排気弁の作動気密状態	15秒以上(排気弁有)	15秒以上	15秒以上
吸気抵抗上昇値	規格値なし	200Pa以下	規格値なし
ぬれ抵抗値	規格値なし	55Pa以下	規格値なし
二酸化炭素濃度上昇値	1%以下	1%以下	1%以下
重量	規格値なし	20g以下	規格値なし



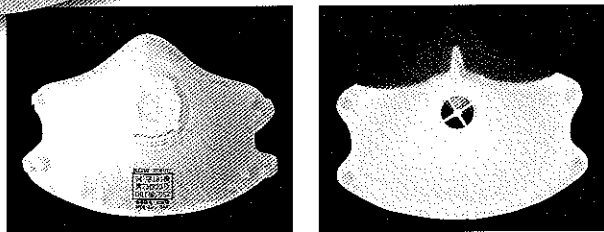
株式会社 二チノ一緑化

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 岡谷ビル6F
TEL:03-3808-2281 FAX:03-3808-2360

粉剤・液剤
散布用

二チノー 排気弁マスク

国家検定合格品 DS2適合品



二チノー排気弁マスクの特徴

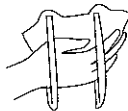
- 広範囲な装着性
農作業をより快適に!
- 会話してもずれにくいオリジナルデザイン採用
排気弁付きで、呼吸が楽!
- ノーズパッド付きで、ジャストフィット!
- 金属無使用の環境対策サポート品
(廃棄時の分別作業不要)
- 鼻部のフィットも快適でメガネが曇りにくい!
- メッシュタイプ締めひもにより清涼感があります

装着方法

もし、マスクがあなたの顔にフィットしていない場合、粉じんに対する保護は期待できません。装着方法に従って、正しく装着してください。

1

接顔部にノーズパッドのある方を指先に向けておき、締めひもがねじれないよう片手でマスクを持ちます。



3

装着した2本の締めひもの位置がイラスト通りの位置になっているか確かめてください。



2

マスク内側のノーズパッドを鼻にあてしっかり顔につけます。上側の締めひもを後頭部に、下側締めひもを耳の下につけてください。



4

マスクを上下左右に動かして顔に良く密着するようにしてください。マスクを両手で覆い、息を吸って、マスクの接顔部から空気の漏れ込みが無いことを確認してください。



※注意 土壌くん蒸、防毒マスクの必要な作業には使用できません。

使用の範囲

本製品は、鉱物性粉じん等の存在している場所あるいは有毒なガス・蒸気を生じないミストの存在している場所で、それらの粉じん、ミストを吸収しないために使用するものです。

酵素濃度が18%未満の場所、溶接フューム、放射能性粉じんが発生している場所、有害物質の種類や汚染の程度が明らかでない場所では使用しないでください。

〈総販売元〉 株式会社 二チノー緑化

ISHIKIN BUSSAN CORPORATION

〈キトリ線〉

マスク申込用紙

国家検定合格品 第TM322号

御 中

責任者ご氏名

二チノー 排気弁マスク

ご氏名	袋数	ご氏名	袋数	ご氏名	袋数

組合からのお知らせ

1. 第231回理事会

- (1) 日時 平成18年9月14日(木) 13:30~17:00
- (2) 場所 全農薬会議室
- (3) 議題

議決事項

- ① 平成18年度決算(案)に関する件
- ② 平成19年度事業計画(案)に関する件
- ③ 組合員の脱退について

協議事項

- ① 第41回通常総会及び第29回全国集会スケジュールについて
- ② 第41回通常総会議長選出について
- ③ 期日現金決済について
- ④ 組合員との取引基本契約書改訂について
- ⑤ 農薬受発注IT化について
- ⑥ 平成18年度植物防疫地区会議について
- ⑦ 平成19年度地区会議について
- ⑧ 農薬工業会支部「農薬ゼミの共催」について
- ⑨ 永年勤続役員・支部長表彰について
- ⑩ 組合員事業所永年勤続表彰について
- ⑪ 事務局体制について
- ⑫ その他

報告事項

- ① 緑の安全協5階入居について
- ② 排気弁マスク取扱いについて
- ③ 役員候補者選考について
- ③ 各委員会報告
- ④ その他

- (4) 出席者 松木理事長、羽隅副理事長、理事、監事、事務局

2. 総務委員会

- (1) 日 時 平成 18 年 9 月 14 日(木) 11:00～12:00
- (2) 場 所 全農薬会議室
- (3) 議 題
 - ① 取引基本契約書の改訂について
 - ② その他
- (4) 出席者 田中委員長、木幡副委員長、三枝、岩淵各委員

3. 経済活動委員会

- (1) 日 時 平成 18 年 9 月 14 日(木) 11:00～12:00
- (2) 場 所 全農薬会議室
- (3) 議 題
 - ① バシレックスの取扱いについて
 - ② スナップショットの販売について
 - ③ その他
- (4) 出席者 青木委員長、鈴木副委員長、池田、芝原各委員、事務局担当者

4. 教育安全委員会

- (1) 日 時 平成 18 年 9 月 14 日(木) 11:30～12:30
- (2) 場 所 全農薬会議室
- (3) 議 題
 - ① 平成 18 年度安全協事業計画の確認
 - ② 岡山県セミナー開催の件
 - ③ その他
- (4) 出席者 垣本委員長、北濱副委員長、武田、石黒、宇野、金井、
安達各委員、事務局担当者

5. IT・広報委員会

- (1) 日 時 平成 18 年 9 月 14 日(木) 11:00～12:30
- (2) 場 所 全農薬会議室
- (3) 議 題
 - ① 受発注の IT 化について
- (4) 出席者 大森委員長、松田副委員長、上田委員、

6. (財)報農会のシンポジウム及び功績者表彰式

- (1) 日 時 平成 18 年 9 月 22 日(金)
- (2) 場 所 「北とびあ」つつじホール
- (3) テーマ 農産物における農薬残留問題(輸入作物を含めて)
- (4) 演題及び演者
 - ① 植物防疫の現状とその課題
(農林水産省植物防疫課) 別 所 智 博
 - ② 農薬ポジティブリスト制度導入に伴う市販食品の安全性確保への対応
(東京都健康安全研究センター) 永 山 敏 廣
 - ③ 中国における農薬の使用実態と食品の安全性
(財団法人 雑賀技術研究所) 佐 藤 元 昭
 - ④ 茶生産農家におけるトレーサビリティへの対応
(農業生産法人 有限会社ネクト) 望 月 信 一
 - ⑤ 特別講演:植物病害制御剤に関する最近の話題
(独立行政法人 農薬検査所) 山 口 勇
- (5) 功績者表彰式 一功労賞受賞者 椎原次郎、青柳和雄、高田昌稔

7. 天敵利用技術研修会—天敵利用の基礎と実際—

- (1) 日 時 平成 18 年 9 月 7 日(木) 13:00～17:00
- (2) 場 所 日本教育会館一ツ橋ホール
- (3) 趣 旨 IPM の推進においては、商業天敵のみならず環境中に生息する土着天敵にも着目し、農薬等多様な防除技術と合理的に組み合わせた防除戦略を確立していくことが重要である。しかし、その推進のためには天敵生物をよく理解し防除体系の中でどのように活かしていくかを考えることが重要である。

本研修会では、土着天敵をはじめとする生物的防除手段の基礎知識とそれらの有効利用のための戦略を学ぶ。

(4) プログラム

- ① IPM における土着天敵の活用
社団法人 日本植物防疫協会 高 木 一 夫
- ② 生物農薬の現状
東海物産株式会社(元野菜茶業研究所) 浜 村 徹 三

③ 生物農薬の防除体系への導入

アリスタ ライフサイエンス株式会社 田口 義広

別表—1:日本の果樹害虫天敵リスト

別表—2:作物・害虫ごと土着天敵一覧

別表—3:現在登録のある生物農薬

別表—4:開発中の生物農薬

別表—5:現在登録のある防除用合成性フェロモン剤

別表—6:現在登録のある育苗箱処理剤・セルトレイ処理剤・定植時処理剤・播種時処理剤(抜粋)

上記資料があります。(資料が必要ならば日本植物防疫協会で購入しておりますので事務局までご連絡ください。) 「1冊2,000円」

(5) 出席者 弓削参事

8. シンポジウム「マイナー対策を考える」

(1) 日時 平成18年9月8日(金)

(2) 場所 日本教育会館一ツ橋ホール

(3) 趣旨 地域農業の振興や食の多様化を背景とし、いわゆるマイナー作物における病虫害防除対策が重要な課題となっている。農薬取締法改正を契機としてこの間関係機関が連携しその対策を推進してきたが、本年7月には経過措置期間が終了することとなり、またポジティブリスト制度の施行といった諸情勢の変化等、マイナー作物の防除対策は新しい局面を迎えつつある。このため本シンポジウムでは、マイナー作物病虫害対策をめぐるこれまでの成果を総括し、今後の展開方向を探る。

(4) プログラム

① マイナー作物防除対策、この3年間

農林水産省植物防疫課 福田 光雄

② マイナー作物対策の現状と問題点

・ 沖縄県 沖縄県営農支援課 親富祖 明

・ 愛知県 愛知県農業総合試験場 伊藤 啓司

・ 高知県 高知県農業技術センター 朝比奈 泰史

・ マイナー作物対策をめぐる国際動向

農林水産省農薬対策室 佐藤 勝也

③ マイナー作物対策の新しい展開

- ・効率的な作物残留評価の試み

(株)日本植物防疫協会研究所 荻山和裕

- ・生物的防除手段の利用法

アリストライフサイエンス(株) 和田哲夫

- ・簡易分析技術としてのイムノアッセイ法

埼玉県農林総合研究センター 中村幸二

(資料が必要ならば、日本植物防疫協会で購入しておりますので
事務局までご連絡ください。) 「1冊 2,000円」

出席者 弓削参事

9. 第65回植物防疫研修会

- (1) 日 時 平成18年9月21日(木)～27日(水)
- (2) 場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター
- (3) 受講者 56名(全農薬関係23名、農薬工業会関係33名)

※ 研修会修了者名簿8頁に掲載

10. 組合員異動

〔代表者変更〕

- 東農薬株式会社 (茨城県)

新:谷口 武

旧:小林厚志

〔住所変更〕

- ㈱師長商店 (愛知県)

新:〒486-0902 愛知県春日井市新開町字平瀬 112-3

TEL:0568-35-5105 FAX:0568-33-3301

旧:〒450-0002 名古屋市中村区名駅 5-20-14

TEL:052-582-2955 FAX:052-581-6126

〔脱退〕

- 有限会社 高野薬局 (長野県)
- 魚又商事株式会社 (京都府)
- 西日本日紅株式会社 香川支店 (香川県)
- 八江農芸株式会社 (長崎県)

11. 平成18農薬年度7月末、8月末農薬出荷実績表

農薬工業会が発表した平成18年農薬年度7月末、8月末出荷実績表を9～10頁に掲載しました。

12. クロルピクリン剤の適切な管理の徹底に関するお願い

クロルピクリン工業会より、別添(11～12頁)のとおり適切な管理の徹底のお願いがありましたので、貴社管理の再確認をお願いします。

13. ニチナー排気弁マスク 注文チラシ

別添チラシができましたのでご利用ください。(必要時に事務局に連絡願います。)

主 な 行 事 予 定

[全国農薬協同組合]

平成18年10月24日(火)	監査会
11月13日(月)	第232回理事会
11月14日(火)	第41回総会・第29回安全協全国集会 第233回理事会
12月7日(木)	第234回理事会
平成19年1月24日(水)～30日(火)	第66回植物防疫研修会
2月中(次頁)	全農薬地区会議:8地区にて開催

[全国農薬業厚生年金基金]

平成18年11月13日(月)	第31回代議員会・第40回理事会
----------------	------------------

○ 平成 19 年度全農薬地区協議会

下記の通り決定しました。

地 区	月 日	時 間	場 所	
			開催地	会 場
関東甲信越	2月 6日(火)	11:00~17:00	東京都	メルパルクトウキョウ
近 畿	2月 7日(水)	10:30~16:00	大阪市	メルパルクオオサカ
北 陸	2月 8日(木)	11:00~17:00	金沢市	メルパルクカナザワ
九 州	2月14日(水)	11:00~17:00	福岡市	福岡ガーデンパレス
中国・四国	2月15日(木)	10:30~16:45	丸亀市	オークラホテル丸亀
東 海	2月16日(金)	11:00~17:00	名古屋	メルパルクナゴヤ
東 北	2月21日(水)	11:30~17:00	仙台市	仙台ガーデンパレス
北 海 道	2月22日(木)	11:00~16:30	札幌市	札幌総合卸センター

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝ 新 刊 紹 介 ＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

- 農薬要覧 [2006年版]
- 農薬適用一覧表 (2006年版)

(注)日本植物防疫協会より刊行されましたので、13~14 頁に紹介します。申し込み用紙に必ず全農薬組合員である旨を付記し、FAXして下さい。

特別価格で購入できます。

第65回 植物防疫研修会修了者名簿

平成18年9月21日～9月27日

番号	氏名	県名	会社名
1	つちや屋 たくろう 郎 土屋 拓郎	北海道	(株)コハタ
2	ふじやま たくし 士 藤山 武士	〃	(株)サングリン太陽園
3	おおひら ひろとし 稔 大平 野稔	〃	〃
4	おおもり 森 あつし 史 大森 淳史	〃	(株)日の丸産業社
5	ごとう 藤 じゅん 準 後藤 準	青森	(株)みちのく松善
6	たかはし まさひろ 弘 高橋 政弘	岩手	小田島商事(株)
7	よしざわ 達つや 也 吉澤 達つや	茨城	(株)栗原弁天堂 茨城支店
8	ひろせ だいすけ 介 広瀬 大介	山梨	(株)アグログリーン 山梨営業所
9	おおむら つかさ 司 大村 つかさ	石川	日栄商事(株)
10	なかむら としはる 治 中村 としはる	静岡	(株)加村薬局
11	かみむら まさと 知 上村 真知	三重	(有)青山グリーン
12	いわもと なおき 貴 岩本 直貴	〃	西部アレフ(株)
13	くにさわ 祐じ 司 國澤 祐司	滋賀	(株)高岡屋
14	さとう ともゆき 幸 佐藤 智幸	岡山	井上商事(株)
15	ばば しみんすけ 介 馬場 進介	〃	〃
16	やまね ひろあき 彰 山根 宏彰	島根	山陽薬品(株)島根支店
17	しんたに かずひさ 久 新谷 和久	広島	大信産業(株)
18	まつか ひろあき 明 松賀 弘明	徳島	(株)松村農園
19	ますまる まさふみ 文 増丸 雅文	佐賀	(株)宮崎温仙堂商店 佐賀営業所
20	はらだ ようへい 平 原田 洋平	長崎	(株)宮崎温仙堂商店
21	ごちよう しんじ 治 五丁 真治	熊本	グリーンテック九薬(株)
22	くすむら ねり 学 楠牟禮 学	宮崎	ミヤタネ商事(株)

平成18農業年度7月末出荷実績表

7月累計出荷では数量202千トン(前年度比-6千トン、97.3%)、金額2,949億円(前年度比-1億円、99.8%)と数量でやや、金額ではわずかに減少した。使用分野別にみると、水稻・分類なしの金額及び金額が増加し、果樹・野菜畑作の数量及び金額と、水稻・分類なしの数量が減少した。

種類別で見ると、混合剤の数量及び金額と、殺虫剤の数量・除草剤の金額が増加し、殺菌剤・植物調整剤の数量及び金額と、除草剤の数量・殺虫剤の金額が減少した。

	《数量》					《金額》				
	単位:t.kg					単位:100万円				
	平成17農業年度		平成18農業年度		前年 同期比	平成17農業年度		平成18農業年度		前年 同期比
	10~9月	7月末	7月末	当月分		10~9月	7月末	7月末	当月分	
水	殺虫剤	21,280	17,334	19,534	3,900	14,187	12,135	12,963	2,575	106.8
	殺菌剤	15,089	14,098	13,405	2,474	16,059	14,893	14,950	2,241	100.4
	殺虫殺菌剤	24,852	22,887	21,603	2,187	31,730	30,327	30,758	1,832	101.4
稲	除草剤	35,256	33,932	32,340	537	55,832	54,108	53,039	608	98.0
	小計	96,477	88,252	86,883	9,098	117,808	111,463	111,710	7,256	100.2
果	殺虫剤	11,129	10,198	10,037	290	25,861	23,163	21,901	1,259	94.6
	殺菌剤	7,857	7,268	6,510	226	19,418	17,827	17,128	663	96.1
	殺虫殺菌剤	52	45	36	1	74	64	53	3	82.8
樹	除草剤	4,438	3,990	4,018	261	9,312	8,382	8,508	528	101.5
	小計	23,476	21,501	20,602	777	54,665	49,435	47,590	2,453	96.3
野菜・畑作	殺虫剤	50,742	42,218	40,299	3,224	55,205	46,266	45,490	3,661	98.3
	殺菌剤	29,456	25,436	22,653	1,973	38,529	34,135	32,258	2,237	94.5
	殺虫殺菌剤	1,101	832	738	159	662	542	537	87	99.1
	除草剤	11,568	10,050	9,721	541	18,812	16,844	17,285	776	102.6
	小計	92,867	78,536	73,411	5,898	113,208	97,788	95,571	6,760	97.7
その他	殺虫剤	4,042	3,435	3,568	218	6,087	5,181	5,458	365	105.3
	殺菌剤	1,242	979	1,011	121	6,001	4,480	4,743	593	105.9
	殺虫殺菌剤	197	169	1,727	136	243	216	1,009	80	467.1
	除草剤	9,811	8,260	8,920	626	18,626	15,179	17,063	705	112.4
	小計	15,291	12,844	15,226	1,100	30,957	25,056	28,272	1,743	112.8
中計	殺虫剤	87,192	73,185	73,438	7,632	101,340	86,745	85,812	7,859	98.9
	殺菌剤	53,645	47,781	43,580	4,794	80,007	71,335	69,078	5,734	96.8
	殺虫殺菌剤	26,202	23,934	24,104	2,483	32,709	31,149	32,357	2,002	103.9
	除草剤	61,072	56,233	55,000	1,964	102,581	94,513	95,896	2,618	101.5
	小計	228,111	201,133	196,122	16,873	316,637	283,742	283,143	18,213	99.8
分類ナシ	植物調整剤	2,361	2,223	2,121	241	8,690	8,137	8,011	419	98.5
	殺菌剤	29	27	28	0	28	26	28	0	107.7
	補助剤	5,077	4,619	4,019	290	2,807	2,462	2,290	218	93.0
	その他	18	18	17	0	1,124	1,028	1,412	0	137.4
	小計	7,485	6,887	6,186	531	12,649	11,654	11,741	638	100.7
合計	合計	235,596	208,020	202,308	17,404	329,286	295,396	294,884	18,851	99.8

平成18農薬年度8月末出荷実績表

8月累計出荷では数量217千トン(前年度比-5千トン、97.6%)、金額3,099億円(前年度比-1億円、99.7%)と数量と金額でわずかに減少した。使用分野別にみると、果樹・野菜畑作の数量及び金額と水稲・分類的な数量が減少し、その他の数量及び金額が増加し、水稲の金額は前年同様だった。種類別で見ると、混合剤の数量及び金額と殺虫剤の数量・除草剤の金額が増加し、殺菌剤・植物調整剤の数量及び金額と除草剤の数量・殺虫剤の金額が減少した。

	《数量》				《金額》				前年 同期比	
	平成17農薬年度		平成18農薬年度		平成17農薬年度		平成18農薬年度			
	10~9月	8月末	8月末	8月末	10~9月	8月末	8月末	8月末		
水	殺虫剤 殺菌剤 殺虫殺菌剤 除草剤 小計	21,280 15,089 24,841 35,256 96,466	20,011 14,667 24,682 34,186 93,546	22,409 14,063 23,232 32,672 92,375	2,875 657 1,774 273 5,580	14,187 16,059 31,686 55,832 117,765	13,672 15,470 31,641 54,439 115,222	14,772 15,561 31,276 53,627 115,237	1,809 611 1,081 348 3,849	108.0 100.6 98.8 98.5 100.0
果	殺虫剤 殺菌剤 殺虫殺菌剤 除草剤 小計	11,129 7,857 52 4,438 23,476	10,515 7,477 46 4,236 22,273	10,340 6,725 37 4,297 21,399	303 215 1 278 797	25,861 19,418 74 9,312 54,665	24,474 18,429 67 8,899 51,868	23,309 17,776 56 9,055 50,195	1,409 648 2 547 2,605	95.2 96.5 83.6 101.8 96.8
樹	殺虫剤 殺菌剤 殺虫殺菌剤 除草剤 小計	50,742 29,456 1,101 11,568 92,867	45,918 27,365 1,070 10,583 84,936	43,870 25,044 955 10,318 80,187	3,571 2,391 217 597 6,776	55,205 38,529 662 18,812 113,208	50,014 36,155 639 17,737 104,546	49,527 34,480 628 18,151 102,786	4,037 2,222 90 866 7,215	99.0 95.4 98.3 102.3 98.3
野菜・畑作	殺虫剤 殺菌剤 殺虫殺菌剤 除草剤 小計	4,042 1,242 197 9,811 15,291	3,663 1,079 176 8,891 13,810	3,744 1,112 1,763 9,485 16,104	176 101 35 564 877	6,087 6,001 243 18,626 30,957	5,526 4,982 226 16,176 26,910	5,776 5,239 1,036 17,422 29,473	318 496 27 273 1,115	104.5 105.2 458.4 107.7 109.5
その他	殺虫剤 殺菌剤 殺虫殺菌剤 除草剤 小計	87,193 53,644 26,191 61,073 228,101	80,107 50,588 25,974 57,896 214,565	80,363 46,944 25,987 56,772 210,066	6,925 3,364 2,027 1,712 14,028	101,340 80,007 32,665 102,582 316,594	93,686 75,036 32,573 97,251 298,546	93,384 73,056 32,996 98,255 297,691	7,573 3,977 1,200 2,034 14,784	99.7 97.4 101.3 101.0 99.7
中	殺虫剤 殺菌剤 殺虫殺菌剤 除草剤 小計	2,361 29 5,077 18 7,485	2,315 27 4,855 18 7,214	2,180 29 4,276 17 6,502	59 0 257 0 316	8,690 28 2,807 1,124 12,649	8,444 26 2,648 1,029 12,148	8,255 28 2,492 1,415 12,190	243 0 202 3 448	97.8 107.7 94.1 137.5 100.3
分類ナシ	植物調整剤 殺菌剤 補助剤 その他 小計	235,585	221,779	216,567	14,345	329,243	310,694	309,882	15,233	99.7
合計	合計	235,585	221,779	216,567	14,345	329,243	310,694	309,882	15,233	99.7

クロルピクリン剤の適切な管理の徹底に関するお願い

平成18年10月24日

全国農薬協同組合 御中

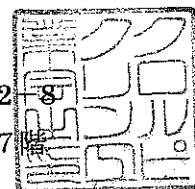
〒103-0027

東京都中央区日本橋1-12-8

第2柳屋ビル7階

クロルピクリン工業会

会長 和田 州生



平成18年10月13日付けで、経済産業省製造産業局化学物質管理課 化学兵器・麻薬原料等規制対策室より、クロルピクリン製造各社に対し、別添内容の「化学物質の適切な管理の徹底について」通知がありました。

クロルピクリンは、「化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律施行令」において、トリクロロニトロメタン（別名クロロピクリン）として、第二種指定物質に指定されています。

このことにより、クロルピクリン製造各社は、本通知内容の履行に努めておりますが、貴組合におかれましても、貴傘下の各組織に対し本通知の周知方をお願い申し上げます。

また、クロルピクリンは、毒物及び劇物取締法における「劇物」に該当し、消防法における「届出を要する物質」にも該当しますので、あわせこれらの法令の遵守方を徹底していただきますようお願い申し上げます。

別添

経済産業省

平成18年10月13日

〇〇化学〇〇工場 御中

経済産業省製造産業局化学物質管理課
化学兵器・麻薬原料等規制対策室長

化学物質の適切な管理の徹底について

平成18年10月9日に北朝鮮から核実験を実施した旨の発表がなされ、我が国政府は、諸般の情勢を総合的に勘案し、10月13日に、北朝鮮に対する厳格な措置をとることを閣議決定しました。

製造産業局化学物質管理課化学兵器・麻薬原料等規制対策室は、現下の情勢にかんがみ、「化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律」に規定する物質の管理の更なる徹底について、下記のとおり対応するよう求めることと致します。

貴事業所におかれましては、同法に規定する物質の適切な管理を再確認いただくとともに、下記に従い所要の対応を徹底するようお願い致します。

記

1. 施設及び設備の監視を徹底すること。
2. 施設内への作業員、見学者等の入出者の管理を徹底すること。
3. 外部から施設内への侵入に対する監視装置、防止柵、施錠等の管理を強化、徹底すること。
4. 施設の巡視点検等の入念な実施、特に不審者、不審物等への注意を徹底すること。また、万が一、不審者、不審物等を発見した場合、速やかに警察等へ通報すること。
5. 非常時の連絡通報体制を再点検するとともに、従事者等に徹底すること。
6. 業務車両、制服等の盗難防止を徹底すること。また、万が一、盗難が発生した場合、速やかに警察等へ通報すること。
7. 施設及び警備に対する不法行為並びにその関連情報及び不審情報に関する社内連絡及び警察等への通報を徹底すること。
8. 危機管理能力の強化に努めること（サイバーテロ対策の強化を含む）。

農薬要覧 2006年版

農林水産省消費・安全局農産安全管理課・植物防疫課 監修

B6判

定価 7,560円 送料サービス

内 容 目 次

- I 農薬の生産，出荷
平成 17 農薬年度生産出荷表(1),(2)，農薬種類別，植物成長調整剤，有効成分別，製剤形態別，毒性別，魚毒性別，農薬原体，会社別などの生産出荷数量・金額表
- II 農薬の流通，消費
農薬流通機構図，農協系の農薬取扱い状況，県別農薬種類別出荷金額表，農薬の農家購入価格の推移
- III 農薬の輸出，輸入
輸出金額表，輸出数量表，会社別輸出金額表，輸入金額表，国別輸入数量金額表，商社会社別輸入金額表
- IV 登録農薬
用途別に分類，有効成分名，年次別登録農薬の推移，農薬登録のしくみ
- V 新農薬解説
- VI 関連資料
- VII 付録
農薬の毒性及び魚毒性一覧，名簿，索引など

申し込み用紙

社団法人 日本植物防疫協会 出版情報グループ 御中
FAX (03)3944-2103

平成 年 月 日

「農薬要覧2006年版」平成 17 農薬年度
定価 7,560円（本体 7,200円）送料サービス
当協会の賛助会員（ただし、本申し込み用紙によるもののみ）
会員特別価格6,300円税込み・送料サービス

送本先住所 〒	—
名称・所属	
Tel () —	担当 様宛 Fax () —
請求書宛名：	部 申し込みます。

本申し込み用紙は、コピーでも可。申し込みは、FAXで可です。ただし、本用紙利用でも当協会の賛助会員以外の方の申し込みは、定価価格にさせていただきます。

農薬適用一覧表 2006年版

(平成18年9月30日現在)

独立行政法人農薬検査所 監修

A4判

定価13,650円 送料サービス

本書の特色

- ① 作物別に適用のある農薬の適用内容がすべて一覧表でわかります。
薬剤別に同一作物内での適用病害虫が確認できます。水稻・きゅうり・トマト・なす・かんきつ・みかん・りんご・なしたばこを除く作物では殺虫剤、殺菌剤を一つの表にまとめました。さらに、掲載薬剤には、使用量(希釈倍数・散布量)・使用時期・使用回数についても掲載しました。
同じ薬剤でも使用時期の違いによる適用病害虫の相違も一覧表で確認できます。
- ② 作物別に適用のある農薬商品名(種類名・人畜毒性を含む)がすべて一覧表でわかります。
登録会社ごとの適用内容の違いも一目で確認できます。
- ③ 特殊な使用方法は別表にまとめました。
稲用種子消毒剤・箱施用剤、常温煙霧剤、ブームスプレーヤ利用剤、空中散布・無人ヘリコプター利用剤など
- ④ 除草剤、植物成長調整剤(使用目的別)も作物別に掲載しています。
- ⑤ 農薬種類名から適用作物の有無が確認できます。
- ⑥ 資料には「適用農薬、作物名一覧」を収録しています。

申し込み用紙

社団法人 日本植物防疫協会 出版情報グループ 御中
FAX (03)3944-2103

平成 年 月 日

「農薬適用一覧表 2006年版」(平成18年9月30日現在)

当協会の団体・賛助会員(ただし、本申し込み用紙によるもののみ)
会員特別価格10,080円(税込み・送料サービス)

部 申し込みます。	送本先住所 〒 _____
	名称・所属 _____
	Tel () _____ Fax () _____ 担当 _____ 様宛
請求書宛名: _____	

本申し込み用紙は、コピーでも可。申し込みは、FAXで可です。ただし、本用紙利用でも当協会の特別会員・賛助会員以外の方の申し込みは、定価価格にさせていただきます。